



こどもを守る わたしたちを守る

# 園内におけるこども性暴力防止法の考え方

～ こども性暴力防止法（日本版DBS）にもとづく当園の取り組み～

## 1. BASIC STANCE

# 私たちの基本姿勢

こども性暴力防止法（日本版DBS）は、子どもへの性暴力を未然に防ぎ、安心して生活できる環境を整えることを目的としています。

私たちは法令を遵守するだけでなく、日々の保育環境や職員の関わりを見直しながら、子どもが安心して過ごせる環境づくりに取り組みます。



当園の考え方は、職員を監視するためのものではありません。  
こどもと職員の双方を守るための共通ルールとして運用します。



子どもと職員  
双方の安心

## 2. 環境整備に関するルール①

### 着替え・シャワー時の配慮について



子どもの身体が必要以上に見える状況をつくらない



シャワー場所には目隠しを設置する



裸の状態で待機する時間を極力なくす



着替え場所が外部から見えないことを確認する



次の順番になってから下着や衣服を脱ぐ



子どもの羞恥心に配慮した声掛けを行う

## 2. 環境整備に関するルール②

# 外部からの視線への配慮について



来園者や保護者から着替え・シャワーの様子が見えない環境を整える



子育て支援事業利用者の動線と保育活動空間を整理する



必要に応じてパーテーション・布等を設置する



見学者や来客が子どもの着替え場面を目にしないよう配慮する

### 3. RESPECT FOR FEELINGS

## 子どもの気持ちを尊重します

子どもによって感じ方は異なるため、それぞれの思いを大切にします。

「恥ずかしい」

「見られたくない」

「一人で着替えたい」

一人ひとりの気持ちに応じた対応を行います。

年齢だけで判断するのではなく、その子の気持ちを受け止めながら援助します。



## 4. 職員の行動基準①

# 説明できる保育を。～1対1の環境を避ける～



### 説明できる保育を行う

私たちの保育は常に、

「なぜその援助が必要だったのか」を  
第三者に説明できるものであること

を、常に意識します。



### 1対1の環境を避けます

- ✓ 密室での対応を避ける
- ✓ 可能な限り複数の職員の目が届く環境で対応する
- ✓ やむを得ず個別対応する場合は周囲へ共有する
- ✓ 死角となる場所を把握し改善する

## 4. 職員の行動基準②

# 職員同士で守り合います



気になる場面は、立場や役職に関係なく  
声を掛け合う



判断に迷う場合は管理職へ相談する



一人で抱え込まない



組織として課題を共有する

## 5. 園内チェックポイント

### 環境確認について



- ✔ 着替え場所が外部から見えない
- ✔ シャワー場所が適切に遮蔽されている
- ✔ 死角が発生していない
- ✔ 動線が整理されている
- ✔ 来客動線と保育動線が分離されている

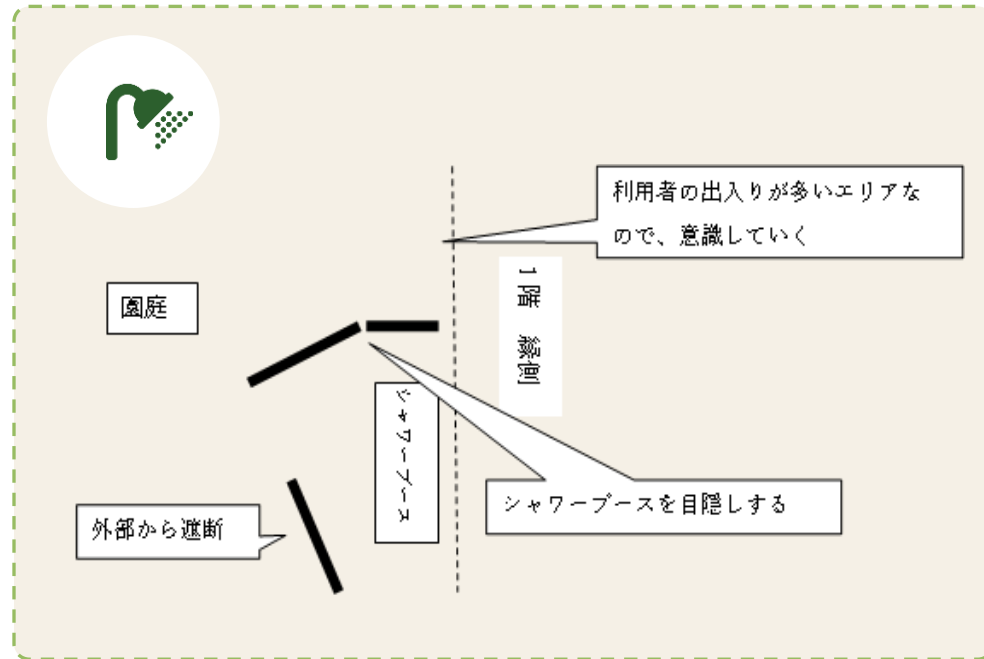
## 6. 環境の配置図

# シャワー・着替え場所の配置



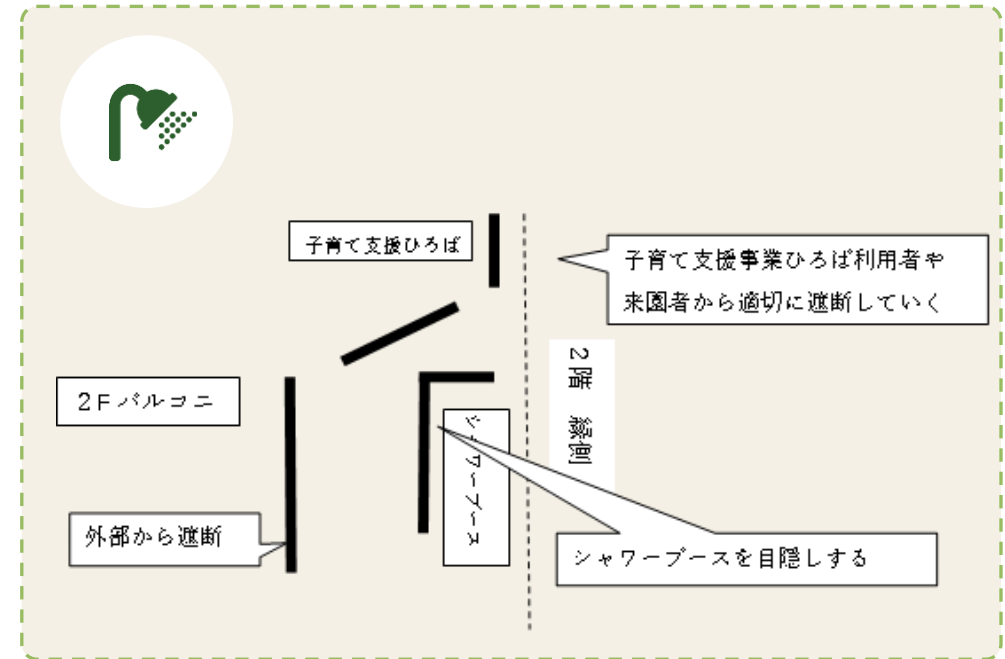
1F

シャワー・着替え場所



2F

シャワー・着替え場所



## 7. OUR COMMITMENT

# 私たちが意識していくこと

日々の着替え、排泄、シャワー、生活場面など、子どものプライバシーに関わる一つひとつの場面を見直しながら、次の安心を積み重ねていくことを意識していきます。



見られない安心



守られている安心



尊重されている安心

子どもへの性暴力を「起こさせない・見逃さない・疑念を招かない」環境づくりを進めるとともに、子どもと職員双方が安心できる保育環境を整えていきます。